

『子供は大島の宝』『大島てご会』を中心に地域全体で子供を育てる！

岡山県笠岡市

活動名

大島地区学校支援地域本部

関係する学校

大島小学校・大島東小学校・大島中学校

活動区分		※ H26 年度の実績（補助の有無については H27 年度の実績）						
基本データ	土曜日の教育活動	コーディネーター数	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	学校支援地域本部	6人	30人	21年度	有	有	無	無
	放課後子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	コミュニティスクール	実施場所			開始年度	放課後児童クラブとの連携		
		指定日			委員数	児童生徒数	学級数	

活動の概要・経緯
大島地区の既存組織「おやじの会」と地域住民が、小中学校と直接やり取りをしながら学校支援を実施していた。その後、より充実した地域の連帯を求める機運が生まれ、「地域と学校が連携して子供を育てよう」と、平成21年度から学校支援地域本部をスタートさせた。この活動では、事務局を学校ではなく、地域全体を把握しやすい大島公民館に設置することで、より多くの地域の人々が参加し、きめ細かい支援ができています。平成27年度からは各学校に2名ずつ地域コーディネーターを置き、学習支援、環境整備、登下校時の安全指導等の幅広い支援を実施している。

特徴

【特徴的な活動内容】

- ・児童、生徒が岡山県指定の重要無形文化財である「大島の傘踊り」を保存会の方々や公民館長から習い、「納涼の夕べ」等の公民館行事で発表をする。また、児童、生徒はその他の公民館行事へも積極的に参加している。
- ・中学3年生の希望者を対象に、10月から2月までの放課後に、毎週2回数学と英語の学力補充支援「寺子屋おおしま」を実施している。指導者には、現役の塾講師、元大学教授などの専門知識のある方をお願いをし、受験対策として充実した学習支援を実施している。
- ・その他、小中学校では環境整備、登下校時の安全指導、小学校では絵本の読み聞かせ、中学校ではソフトテニスの部活動指導等の支援をしている。

【実施に当たっての工夫】

大島地区学校支援地域本部は大島中学校区全ての学校（2小学校、1中学校）から組織されていることから、より充実した組織化をするため「大島てご会」を結成し、毎月第2金曜日に会議を開いている。「大島てご会」は地域コーディネーター、PTA役員、公民館関係者、自治会関係者、小中学校で組織され、各学校と地域の意思疎通、方向性の共有を行う場となっている。

また、地域コーディネーターは、地域住民に近い公民館関係者や学校にとって身近な存在であるPTA経験者（OB）が務めている。公民館関係者やPTA経験者が地域コーディネーターを務めることで、地域の人材をより的確に把握することができ、地域住民としての意見や学校の意見を取り入れやすくしている。学校側からも「これをてご会に頼んでみたらどうですか？」などのちょっとした声掛けも出るようになってきている。

事業を実施して

【地域】 児童、生徒と触れ合うことで喜びややりがいを見つけ、地域に活力が生まれている。地域住民同士のつながりもより強くなり、地域全体の「地域力」が上がった。また、以前より学校へ関わりやすい環境になっている。

【学校】 学習を以前より効率的に進めることができるようになり、学校だけでは支援の届きにくい場面でボランティア活用が進み、より充実した教育環境を作ることができるようになってきている。また、地域状況や地区の伝統文化等を知ることができるようになった。

【子供】 多くの活動を通じて地域の方々や触れ合うようになり、地域の方の顔をだんだん覚えられるようになった。また、地域への関心が生まれ、地域の活動へ積極的に参加するようになってきている。そして、「手伝ってもらっただけでなく、自分たちも地域のためにお手伝いがしたい」という思いを持つようになってきている。

その他

【寺子屋おおしま】

- ・週2回で、約1時間の学習を2グループに分かれて実施しており、数学と英語は教室を分けて実施している。
- ・指導内容は、数学と英語の2教科で、各2名の指導者がいる。
- ・毎年9月に中学3年生全員に募集チラシを配布し、ほとんどの生徒が参加している。



「寺子屋おおしま」様子



「大島の傘踊り」練習様子